

2015
AUTUMN

No. 3

SHODAI

学園広報誌 商大

SHODAI



学校法人 高崎商科大学
since 1906

高崎商科大学大学院

高崎商科大学

高崎商科大学短期大学部

高崎商科大学附属高等学校

高崎商科大学佐藤幼稚園

〒370-1214

群馬県高崎市根小屋町741

TEL 027-347-3399

Contents

- 1 山名拠点開設!! ～大学COC事業について～
- 3 学園資料を読む 長松寺 ～和尚 山端息耕氏との出会い～
- 4 学科長就任の挨拶
高崎商科大学短期大学部 学科長 中村雅典
- 5 高崎商科大学トピックス
本学の会計教育と経理研究所について
- 6 高崎商科大学短期大学部トピックス
グローバルプログラムの取組みについて
- 7 高崎商科大学附属高等学校トピックス
総合ビジネス学科の取組みについて
- 8 高崎商科大学佐藤幼稚園トピックス
高崎祭「創作だるまみこし」に参加しました!
- 9 学園財務状況 平成26年度決算報告
- 11 学園情報
- 15 Campus Information

高崎商科大学

山名拠点開設!! ～大学COC事業について～

コミュニティ・パートナーシップ・センター長 ライトウ 晴世

高崎商科大学では、文部科学省「地（知）の拠点整備事業」（大学COC事業）『地と知から（価）値を創出する』地域密着型大学を目指して」をコミュニティ・パートナーシップ・センター（CPC）を中心に推進して3年目を迎えました。平成27年度のCOC事業では「上信電鉄上信線沿線の観光まちづくりとそのための人づくり」を軸とした活動を「点から線、線から面へ継続的取組み」として一層充実させていきたいと思ひます。

「富岡サテライト」に続き山名拠点開設

本学では学外学習や地域でのフィールドワークを積極的に進めるなど、教育カリキュラムの見直しを通じて地域に関連する教育の充実化を図っています。さらに地域学修と地域連携の足場となる学外活動拠点を設置し、学生による調査研究や中心市街地の活性化に向けたイベント開催等、地域



テープカット（開所式）



地元野菜を使った料理



トマトうどん（赤）と桑うどん（緑）

貢献活動に活用しています。昨年オープンした「富岡サテライト」に続き今年7月12日に「山名拠点」（高崎



桑の葉と椎茸の天ぷら

市山名町1512）を開設しました。来賓による祝辞に続きテープカットが行われました。その後室内で桑のてんぷらやピリ辛玉こんにゃくなど地元野菜を使った料理がふるまわれました。建物は、高崎市の空き家対策助成により民家を改修したものです。ゼミ活動や研修、公開講座などだけでなく、地域の集会や交流の場などとしても活用していただけることを願っています。

上信電鉄活性化プロジェクト



ファンタジー号車内の様子
（鯉のぼり作成）

本学では、上信電鉄の活性化や富岡製糸場を生かしたまちづくりに多くの学生が取り組んでいます。上信電鉄活性化プロジェクトの一環として5月5日（祝）の「2015ファンタジー号」運行に協力しました。工女や沿線のゆるキャラになりきった学生たちが車内イベントを盛り上げ、子どもたちを大いに楽しませていました。

工女おもてなしプロジェクト及び来場者調査

平成26年の「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界文化遺産登録を記念し、上信電鉄との連携で実施した「工女おもてなしプロジェクト」は特に各方面から高い評価をいただきました。本年度は、新たに富岡市が連携に加わり、産学官連携による「上州富岡駅観光案内おもてなし事業」として、5月から11月の期間、毎週末と祝日に上州富岡駅でおもてなしを行っています。学生は、毎回のおもてなしで得た経験を共有し、よりスムーズなご案内ができるよう工夫しています。さらに、製糸場や工女についてより深く学ぶために、まち歩きや勉強会を実施するなど、昨年以上の充実を図っています。



工女衣装

交通安全運動に協力



また、富岡市や高崎市の中心市街地の再生と活性化に関わる活動にも多くの学生が関わっています。例えば、富岡青年会議所が中心となって実施した「とみおか夏まつり2015」へ協力し、初めて来場者調査を実施しました。

18名の学生が5時間にわたって調査を実施し、231の有効回答を得ました。調査の結果、この夏まつりには、主に富岡市内在住（65%）の方々が、家族（49%）と一緒に、屋台での飲食（38%）を楽しみに訪れるという姿が浮かび上がりました。また、自由回答では、今年初めて実施した七夕飾りについて、好意的な評価が多数寄せられており、今回7回目となるこのお祭りが地域に根差していることがわかりました。

COCプラスに向けて進む協力・連携体制

高崎市・富岡市・下仁田町・上信電鉄㈱・JR東日本などに加えて各種機関との協力・連携体制も一層進んでいます。8月25日には、IT企業「テグレット技術開発・ワッフルコンピュータ」（東京都）と包括的産学連携協定を締結しました。今後は同社が開発した自動文書作成ソフト「直子の代筆」のスマートフォン版の開発に当たり本学の授業で開発協力、マーケティング協力を行うなど、地域における課題に対応した機能の開発を共同で行っていきます。



包括的産学連携協定調印式

10月1日より、文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業～地（知）の拠点COCプラス」が始動し、本学はCOC⁺参加校として群馬県を中心とした地方自治体・大学・企業等と協働し、地方を担う人材育成に取り組むこととなりました。今後は、群馬県が一体となって雇用創出や地元就職率の向上に取り組むとともに、地域が必要とする人材を養成するための教育カリキュラムの構築・実施に取り組むことが求められます。

学園資料を読む

明治39年4月、夕子先生31歳の時、高崎市柳川町に私立佐藤裁縫女学校を開校してから30年、生徒数は順調に増え続け、大正15年には評判いい女学校として800名以上の在生となりました。

その頃、夕子先生は生徒の作品などを通じ、その父母や地域の人達とも多く知り合うようになり、そんな中で、夕子先生は赤坂町の長松寺で毎月開催されているという修養会に誘われました。その会は会員制で、会員には裁判官、役人、大学教授、軍人と各界の名士が顔を連ねていました。毎月1回、中央で活躍している職業の多岐にわたる有名人を講師として招き、講演してもらうことからとても興味深いものでした。



長松寺

夕子先生は、この修養会に出席することが楽しみでした。日曜日の午前中、境内にある数幹の巨松が奏でる松籟を聞きながら座していると、それだけでも解脱できる思いでした。夕子先生は、回を重ねるうちに、学校の修身の時間のことを考えていました。修養会に生徒を出席させられないだろうか。生徒たちにこの環境の中で聞かせてやりたい。そんな夕子先生の願いを当時長松寺住職山端息耕氏は快く受け入れ、授業の一環として、日曜日に自由参加ということになりました。夕子先生は参加できる生徒は多くて四、五十人と住職に伝えていましたが、ふたを開けてみると、その倍近い人数になっていたそうです。

この和尚（山端息耕氏）は、社会事業に心が厚く、子守学校を創設した人物でもありました。長松寺の本尊は聖徳太子の作った十一面観音。境内には数幹の巨松があり、特に寺内から見下ろせる烏川西方の景観がすばらしい。

「長松寺」

～和尚 山端息耕 氏との出会い～

夕子先生は修養会に入ってから、個人的にもこの寺を訪ねるようになっていました。その後、若住職（山端敬吾氏）に「うちの先生になってください。」とお願いし、国語の先生として長い間教職についていただいたそうです。



住職 山端息耕氏

こうして夕子先生と長松寺の縁はさらに深くなり、夕子先生は長松寺を自分と井出家の菩提寺に決めたのでした。

今の住職は、山端昭道氏ですが、昭道氏の息子さんで副住職の山端耕之氏には現在法人役員会の評議員としてご就任いただいております。



住職 山端敬吾氏

一枚の写真

孫達と

大正15年頃に撮られた夕子先生と孫達の写真です。夕子先生には三人の孫がおりました。長男の「温」^(注1)、長女「千江子」^(注2)、次男「洸雄」^(注3)の三人です。

三人の孫達は、寄宿生と同じ生活ですが、次々と必ず一人は夕子先生と生活を共にしていたそうです。孫がかわいく常に膝元におきたかったようです。



孫達と、右から千江子、夕子、洸雄、温（大正15年頃）

夕子先生は御自身には厳しく質素な方でしたが、孫には春は東京見学、夏休みには必ず温泉や海水浴へつれていくのが慣例だったそうです。

- (注1) 故第二代 井出 温 校長
- (注2) 森本千江子(故森本公生 顧問夫人)
森本純生理事長・校長の母
- (注3) 故第三代 井出洸雄 校長

学科長 就任のあいさつ



高崎商科大学短期大学部
学科長就任（平成27年4月1日付）

教授 中村 雅典
Masamori Nakamura

今年度から高崎商科大学短期大学部現代ビジネス学科の学科長に就任いたしました中村雅典です。高橋前学科長が築き上げてきた「マナーとフィールド教育」の商短、授業風景や学内外イベントなどの日常的なキャンパスライフをお届けする「短大フェイスブック」での情報発信、そして、何より独自のアイデアで前向きに展開していく「ひたむきな行動力」を受け継ぎ、現代ビジネス学科の更なる発展に全力を尽くして参りますので、よろしくお願い致します。

さて今年度の商短は、上記の「フィールド教育」に加え、「アクティブラーニング」を加速させるための新しい取り組みをしております。学科指定科目で卒業要件にも含まれるフィールドワーク科目「地域とビジネス」、「ボランティア論と実践」、「短期インターンシップ」、「長期インターンシップ」の4科目はもちろんのこと、各コースで工夫をしながら講義科目であっても「フィールドワーク」を取り入れ、地域の課題や問題を直接肌で感じ「深い学び」につなげています。会計・ビジネスコース「簿記」の授業の一貫としてガトーフェスタハラダにて、製造工場見学で材料費等のどのような「費用」が発生しているのかを見学、併設直営店見学では販売されている商品から「収益」を見学し、普段授業で扱っている簿記をリアルに感じられるアウトキャンパススタディー（以下OCS）を実施しました。

また医療事務・ドクタークラークコース「ドクタークラーク概論」では、群馬県立心臓血管センターのご協力のもと、本学卒業生4名のドクタークラーク外来業務や文書作成の“現場”を見学し、普段の学びがどのような意味を持っているのかを実感できるOCSを実施しました。

更に、2号館3階に新設された「アクティブラーニンググループ」も活用し、健康・スポーツコース「フィットネストレーニング実践」において、巨大スクリーンに映し出される自身の動きや指導姿をリアルタイム映像で確認し、各項目を意識しながら実技に集中できる環境下で授業展開を行っています。また授業科目以外でも、オープンキャンパスにおいてアクティブラーニンググループのICT機器を活用し、遠隔地と教室をインターネットのビデオ通話でリアルタイムに双方向で交流するなど、本学での「学びの可能性とワクワク感」をアピールしております。（アピールする際にも活用・利用しております。）

グローバル化における未来予測が難しい現代だからこそ、主体的に考え行動ができ、そして自立して力強く生きていく「人間力」が求められています。短大には2年間しかないので、「密度」での勝負となります。この在学期間にアクティブな学修ができるさまざまな仕掛けを作り、「学生の本気度」を上げていく仕組みを取り入れ、「本気の2年」を過ごしてもらえよう頑張っていきたいと思っております。

平成27年度 教職員数一覧（平成27年4月1日現在）

| | 法人本部 | 大学 | 短大 | 高校 | 幼稚園 |
|------|------|-----|-----|-------------------|------------------|
| 本務教員 | | 27名 | 10名 | 58名 | 10名 |
| 兼務教員 | | 36名 | 21名 | 34名 | 5名 |
| 本務職員 | 3名 | 19名 | 9名 | 7名 | |
| 兼務職員 | | 8名 | 3名 | 10名 嘱託職員 含む | 4名 嘱託職員 含む |

学校法人高崎商科大学
平成27年度 理事・評議員・監事

| | | | |
|----------|-------|-----|--------|
| 理事長・評議員 | 森本 純生 | 評議員 | 吉田広二郎 |
| 副理事長・評議員 | 森本 淳 | 評議員 | 蟻川 順子 |
| 理事・評議員 | 淵上勇次郎 | 評議員 | 山端 耕之 |
| 理事・評議員 | 金井可佐夫 | 評議員 | 森本 圭祐 |
| 理事・評議員 | 山田 富二 | 評議員 | 鰐 淵 一夫 |
| 理事・評議員 | 中島 順子 | 評議員 | 竹上 健 |
| 理事・評議員 | 中村登美子 | 評議員 | 高橋 洋一 |
| 監事 | 加藤勝二 | 評議員 | 中村 雅典 |
| 監事 | 堤 宏 | | |

大学トピックス

本学の会計教育と経理研究所について

教学課長補佐／経理研究所員 鈴木 洋文

本学では、平成23年度より、これまで大学教育の枠組み内に留まっていた会計教育をさらに充実させるため、資格予備校の講義が学内で受けられるWスクールの仕組みをPCDプログラムとして導入し、学生からのニーズに応えてきました。

しかし、ここ昨今の学生の到達レベルの上昇やニーズに伴い、これまでの体制をさらに発展させる必要が出てきており、3年半前から現役の公認会計士集団による講義を提供する体制を整えてきました。

資格指導において、学生にとって最も重要と思われることは、単に資格取得を目指すのみの教育を提供することではなく、将来取得した資格を活かしていけるような教育を提供することであり、現役の公認会計士による講義・指導は、資格取得指導と同時にキャリア教育の意味合いも大いに含んでいる意義深いものとなっています。

講師陣は、中央大学経理研究所にて例年100名近い同大生を在学中に公認会計士合格へと導く実績を持っており、日本一と言っても過言ではない指導体制を確立させている会計指導のプロ集団です。

現役の公認会計士
講師陣



本学では、昨年8月に簿記、会計、経理領域に関する教育の水準向上を主目的とし、経理研究所を立ち上げ、前述の講師陣を主任・客員研究員としています。同研究員からは、中央大学経理研究所での指導ノウハウの提供・直接指導と同時に、これまでの指導体制の中での問題点を本学で解決できるような体制作りを行っており、中央大学経理研究所での指導体制以上の仕組みが導入されています。

少人数ならではの指導として、ICTを活用した反転授業の実施や個々の習熟度に応じた指導のカスタマイズの実践により、大学入学までは簿記・会計を学んだことのない普通科からの進学者の高度な会計レベルへの到達も可能となり、普通科からの進学者の日商簿記1級試験合格も実績として残しています。



経理研究所主催の
高大連携夏合宿



配信動画を
閲覧する学生



増設された
個別の学習ブース

学生の自学自習のニーズに応えるため、施設設備の充実も計画的に進んでおり、この7月に行われた施設拡充工事により、現在では60席以上の個別ブースが設置されています。

こうした改革の結果、年に2回実施される日商簿記1級試験では、平成24年11月に実施された第132回より6期連続で13名の合格者を輩出し、税理士試験においても、平成24年から平成26年の3年間で10名の科目合格者を輩出できるようになりました。※平成27年は合格発表前

経理研究所では、早期の高度な会計レベルへの到達を目的に、商業科を擁する高等学校との連携も進めています。その結果、大学2年生の公認会計士試験合格者輩出が可能となりました。

本年8月には公認会計士の最終試験である論文式試験に、1次試験と言われ超難関でもある短答式試験を突破した学生数名がチャレンジしており、11月の合格発表では本学初の公認会計士誕生が期待されています。

今後、早期に公認会計士に合格した学生には、現場で活躍する公認会計士の実務に関する講義の提供やインターシップなどの機会を通じて、卒業後の活躍へとつながる教育の展開が予定されています。

経理研究所では、単なる資格検定取得のための支援ではなく、キャリア教育を提供することを大前提とし、職業会計人として社会で活躍できる人材を輩出し続けるために、これからも各種取り組みを企画・運営していく予定です。

短期大学部トピックス

グローバルプログラムの取組みについて

高崎商科大学短期大学部 学科長 中村 雅典

昨年度から、『英語“を”学ぶ教室内での授業と、英語“で”学ぶ授業外での授業を通して、社会が求める実質的な英語力の育成』を目指して始まったグローバルプログラム。今年度も更に磨きがかかり、短大独自の『国内英語研修』・『海外英語研修』に加え、大学と共に『海外インターンシップ』・『海外ショートステイプログラム』を実施し、“英語力”だけではなく、“国際力”の養成にも力を注いでおります。今回は短大独自で行っている『国内英語研修』と『海外英語研修』についてご紹介致します。

国内英語研修は、平成13年度から福島県に中世の英国を再現した研修施設『British Hills』で数日間滞在型の英語研修を行っています。毎年履修者の要望に合わせた内容（本格的なプレゼンテーションからアロマセラピーまで）のプログラムで学生たちを英語の世界に飛び込ませています。今年度は、履修者のほとんどが春休み期間中の3月に海外英語研修に参加予定であるので、「留学を意識した語学研修」と「英国異文化体験」をメインテー



サンパシフィックカレッジにて（海外英語研修）

マに研修を行いました。英語を話すことの不安や恥ずかしさを拭い去るため、「大声英会話」を青空の下で行い、また、伝統的な英国筆記スタイルの“美文字”を学びカード作りを体験しました。授業以外においても、夕食後のフリーアクティビティでは、ゲームや手品で遊びながら授業とは違った雰囲気の日常英語に慣れ親しみ、2日目の夜には、ドレスアップして英国式テーブルマナー研修を受け、その後本格的コースディナーを堪能したりと、心もお腹も言語も「英国流」で満たされた素晴らしい研修となりました。

次に海外提携校のオーストラリア、クイーンズランド州ケアンズにある『Sun Pacific College』で実施している海外英語研修をご紹介します。English Onlyのポリシーが徹底され、併設されている学生寮で世界各国の留学生と英語で寝食を共にし、“英語で世界を感じ、グローバルマインドを高める”2週間の短期留学を実施しております。8：20から14：50までのレベル分けされたクラスを様々な国籍の留学生と受講し、15：00からは誰でも参加できるアクティビティ（各種スポーツ、ヨガレッスン、ビーチパーティー等）が用意されており、国籍など関係なくスポーツやレクリエーションを楽しめ、そして19：00からは夜間クラスで、チューターの先生とTOEIC勉強や会話の練習を行うことができます。朝から夜までみっちり実践的に英語を使えるので、数日間で「喋れている」ことを実感できる環境です。さらに、ここでの生活そのものが多文化共生社会でのコミュニケーションなので、地球市民として多文化理解を深め国際力を高める研修にもなっております。



ブリティッシュヒルズにて（国内英語研修）

平成27年度

高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部 後援会役員

| | | | |
|-----|---------|-----|-----------|
| 会 長 | 山 田 富 二 | 理 事 | 栗 原 信 幸 |
| 副会長 | 原 浩 一 郎 | 理 事 | 松 沢 齊 |
| 副会長 | 山 崎 松 恵 | 理 事 | 馬 場 弘 隆 |
| 副会長 | 清 水 美 香 | 理 事 | 宮 嶋 正 |
| 理 事 | 横 田 英 一 | 監 事 | 城 田 克 巳 |
| 理 事 | 三 浦 文 雄 | 監 事 | 山 口 か お る |

附属高校トピックス

総合ビジネス科の取り組みについて

総合ビジネス科主任・コース主任・2学年主任・進学指導副主事 善如寺 孝 益

“実学”って何でしょう！進学より就職をイメージする方が多いと思います。実際は、空理空論の自己虚栄心の満足の学問でなく、実際の生活や世の中に役に立つ学問のことをいいます。“実業”である総合ビジネス科は、8割が進学しその内の半数近くが高崎商科大学及び短期大学部へ進みます。また、その歴史は古く、商業科から数えて54年目になり、100年を越える学園の歴史の半分を共にし、学園の大きな教育の柱として現在もその一翼を担っています。

そこで、今回は当科の様々な取り組みの中で「高校と大学が連携」した取り組みについて紹介します。

商大見学と体験入学

毎年第1学年夏休みに実施しています。

本年は8/20(木)に実施されました。81人の生徒が5コースに分かれて2回講義を受けました。講義内容は以下の通りです。

| | テーマ | 担当 | 参加数 |
|---|---------------------|------|-----|
| ① | 企業の社会的責任とは | 田中先生 | 34名 |
| ② | 会計で分かるディズニーのビジネスモデル | 廣瀬先生 | 47名 |
| ③ | 観光客に喜んでもらえる“まち”とは | 萩原先生 | 21名 |
| ④ | スキンケアと皮膚科学 | 柳原先生 | 40名 |
| ⑤ | スポーツの新しい楽しみ方を知ろう | 大沼先生 | 20名 |

先生方、貴重な時間を割いていただきお世話になりありがとうございました。また、事務の先生方にも協力していただき、学食まで体験させてもらい生徒達は満足でした。

平成27年度 父母の会本部役員 (部活動後援会本部役員)

| | | | |
|-----|------------------|----|------------------|
| 会長 | 中村 純也 (F3-10) | 書記 | 茂木 幸恵 (F2-3) |
| 副会長 | 山木 恵子 (F3-9) | 書記 | 登坂 駿 (学校職員) |
| 副会長 | 松澤 龍治 (F2-8) | 会計 | 猿谷 正広 (F3-7) |
| 副会長 | 桂川 淳 (F1-9) | 会計 | 笠原 美穂 (F2-12) |
| 書記 | 佐藤 英司 (S3-1) | 会計 | 岩井 則和 (学校職員) |

高大連携授業

第3学年の1学期の毎週火曜日、希望した生徒が5、6校時に商科大学・短大部に移動し講義を受けています。

本年は、48名の生徒が以下のように4コースに分かれて講義を受けました。それぞれが新鮮で有意義であったようです。

| | テーマ | 担当 | 参加数 |
|---|--------|------|-----|
| ① | 基礎英語 | 中村先生 | 23名 |
| ② | 社会と会計 | 後藤先生 | 8名 |
| ③ | 観光学概論 | 岩下先生 | 6名 |
| ④ | 海外観光事情 | 大津先生 | 11名 |



高校での簿記の授業の様子

大学・短大の先生方には本来の講義とは別に担当していただき、本当に感謝に堪えません。ありがとうございました。

以上のような大学・短大との連携した取り組みの甲斐もあって、本年も37名の生徒が総合ビジネス科より進学することになっています。どうぞ引き続きよろしくお願い致します。

Haul-Aプロジェクトを取り入れた高大連携授業 (会計)の検討

高校・大学の7年を通じて“会計士”を養成しようという取り組みです。よくよく考えますと、高崎商科大学があり高校に商業科(総合ビジネス科)があって、至極当然な取り組みであると思います。本校“商業教育”50年の歴史と伝統、実績を踏まえ、前向きに取り組み、実現させたいと考えています。

近い将来、総合ビジネス科出身で高崎商科大学生の“公認会計士”が出現するかも知れません。どうぞ皆さん期待しててください。



高校での情報の授業の様子



情報の授業画面

佐藤幼稚園トピックス

高崎祭り『創作だるまみこし』に参加しました！

高崎商科大学佐藤幼稚園 園長 中村 登美子

盛夏の中、開催される高崎祭りの“創作だるまみこし”の部門に参加し始めて今年で7年目となりました。真っ白な大きなだるまをオリジナルのだるまに仕上げて子ども達と担ぐお神輿です。

最初は高崎市内の幼稚園や保育園も数多く参加していましたが今年は数えるほどとなってしまいました。今年の佐藤幼稚園のだるまは『ミッキーだるま』。もてなし広場をスタートし、さやもーるを通るルートを法被を着た年長組が暑さに負けず「わっしょい！わっしょい！」と担ぎ切りました。頑張った甲斐あって、“優秀賞”に輝きました。

そして、8月3日～17日までの間、高崎市総合保健センターに飾られました。来年こそ最優秀賞を目指して頑張ります。

佐藤幼稚園ホームページ

「つぶやきブログ」を始めました！

保護者の方が子ども達が園でどのように過ごしているのかを知ることによって安心して頂けるようにつぶやきブログを始めました。

毎月、園便りも発行していましたが、園長先生がその時々様子が分かるようにアップしております。

初めてのお子さんを入園させた方には大変好評のようです。お時間がありましたら皆さんも覗いて見て下さい。



佐藤幼稚園・ミッキーだるま

園外保育 栗拾い・さつまいも掘り体験

季節毎に安中の農場へ園外保育に行き作物の収穫などの実体験をしています。まず、年長組になると栗林に栗拾いに行きます。イガイガの中の栗を上手に足でひろげて取り出します。今年もたくさんとれて大喜びで栗を持ち帰ってきました。お家で栗ご飯にして手を痛くしていたお母さんもうらしたようですが、十分秋を子どもと一緒に感じて頂けたと思います。



栗拾い体験



さつまいも掘り体験

10月中旬にはさつまいも掘りです。全園児が2日に分かれて農場に行ってきました。今年は天候の関係もあり残念ながら不作でしたが、気持ち良く晴れ渡った秋空の下で、お母さんの作ってくれたお弁当を大きなシートの上でクラスの友だちと楽しく頂きました。食べたらもったいないくらいの流行の“キャラ弁”を子ども達も大喜びで残さず食べていました。

平成27年度佐藤幼稚園 父母の会本部役員

| | | | |
|--------|-------|---------|---------|
| 会 長 | 松村さとみ | 広報委員長 | 加藤 郁 恵 |
| 副 会 長 | 近藤真樹子 | 広 報 委 員 | 梅山あかね |
| 副会長・書記 | 静 香 | 教養委員長 | 輿 石 美 樹 |
| 書 記 | 小間 瞳 | 教 養 委 員 | 塚越由紀子 |
| 会 計 | 砂山 恵里 | 会 計 監 査 | 阿久澤麻美 |
| 会 計 | 福田 泰子 | 会 計 監 査 | 関根三保子 |

平成26年度 財務状況

学校法人高崎商科大学 平成26年度決算報告

平成26年度決算につきましては、平成27年5月29日(金)開催の理事会において承認され、同日開催の評議員会に報告されました。現在、本法人の経営状態は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」に照らし合わせた場合、昨年度に引き続き過去13年間「Aランクの状態」(正常状態)に位置しており、財政基盤はきわめて安定していると言えます。今後ともこの健全な経営状態を維持するよう、より魅力ある学園とするため教育研究内容の充実や施設設備の整備に引き続き努力して参ります。

なお、財務関係書類については情報公開を行っており、学校法人高崎商科大学ホームページ及び各設置学校内の所定の場所で閲覧することができます。

①資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、その年度の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにする書類です。

平成26年度の資金収支状況について、収入は前年度繰越支払資金の2,320,555千円を加え、合計で4,926,769千円となり、学生生徒等納付金収入、補助金収入、前受金収入及びその他の収入で増加したものの、手数料収入、寄付金収入、資産運用収入及び事業収入等が減少したことで、予算に対しては47,063千円の減少となりました。

一方、支出については、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等で減少し、次年度繰越支払資金は予算に対し65,082千円増加の2,257,037千円となりましたが、昨年からは63,518千円の減少となりました。

資金収支計算書

(単位：円)

| 収入の部 | | | | 支出の部 | | | |
|------------|---------------|---------------|-------------|-----------|---------------|---------------|-------------|
| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 | 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
| 学生生徒等納付金収入 | 1,476,646,700 | 1,476,660,390 | △13,690 | 人件費支出 | 1,229,207,824 | 1,228,164,024 | 1,043,800 |
| 手数料収入 | 47,555,000 | 47,028,180 | 526,820 | 教育研究経費支出 | 515,559,776 | 513,845,687 | 1,714,089 |
| 寄付金収入 | 11,956,405 | 11,947,765 | 8,640 | 管理経費支出 | 138,893,480 | 124,127,873 | 14,765,607 |
| 補助金収入 | 702,492,867 | 712,717,934 | △10,225,067 | 借入金等利息支出 | 3,540,675 | 3,540,675 | 0 |
| 資産運用収入 | 23,239,869 | 23,165,590 | 74,279 | 借入金等返済支出 | 27,770,000 | 27,770,000 | 0 |
| 資産売却収入 | 100,000,000 | 100,000,000 | 0 | 施設関係支出 | 464,514,870 | 429,447,466 | 35,067,404 |
| 事業収入 | 12,378,500 | 12,303,488 | 75,012 | 設備関係支出 | 118,791,546 | 117,433,767 | 1,357,779 |
| 雑収入 | 29,984,250 | 29,799,614 | 184,636 | 資産運用支出 | 204,880,000 | 204,880,000 | 0 |
| 借入金等収入 | 200,000,000 | 200,000,000 | 0 | その他の支出 | 48,821,101 | 48,821,101 | 0 |
| 前受金収入 | 228,670,000 | 236,173,000 | △7,503,000 | 〔予備費〕 | 48,437,033 | | 48,437,033 |
| その他の収入 | 82,935,807 | 83,319,429 | △383,622 | 資金支出調整勘定 | △18,538,807 | △28,298,205 | 9,759,398 |
| 資金収入調整勘定 | △262,581,750 | △326,901,237 | 64,319,487 | 次年度繰越支払資金 | 2,191,955,326 | 2,257,036,941 | △65,081,615 |
| 前年度繰越支払資金 | 2,320,555,176 | 2,320,555,176 | | 支出の部合計 | 4,973,832,824 | 4,926,769,329 | 47,063,495 |
| 収入の部合計 | 4,973,832,824 | 4,926,769,329 | 47,063,495 | | | | |

②消費収支計算書の状況

消費収支計算書は、その年度の授業料や寄付金等、負債とならない収入(帰属収入)から「基本金組入額」を控除した「消費収入」と減価償却額や資産処分差額等を含む、その年度に消費する支出(消費支出)との均衡状態と経営状況を把握するための書類です。

平成26年度は、帰属収入合計が予算に対して11,209千円増の2,316,434千円となりました。また、基本金組入額は、275,308千円となり、この結果、帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入は、予算比62,486千円増の2,041,126千円となりました。

これに対して消費支出は、予算に対して64,512千円減の2,083,918千円となりました。

これらの結果、単年度の収支状況の指標となる帰属収支差額(=帰属収入-消費支出)は、232,516千円の収入超過となりました。また、収支のバランスを把握する消費収支差額(=消費収入-消費支出)では、基本金組入の関係から42,792千円の支出超過となりましたが、前年度繰越消費収入超過額の994,713千円を加え、翌年度繰越消費収入超過額は、951,921千円となりました。

消費収支計算書

(単位：円)

| 消費収入の部 | | | | 消費支出の部 | | | |
|----------|---------------|---------------|-------------|--------------|---------------|---------------|------------|
| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 | 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
| 学生生徒等納付金 | 1,476,646,700 | 1,476,660,390 | △13,690 | 人件費 | 1,246,227,947 | 1,245,184,147 | 1,043,800 |
| 手数料 | 47,555,000 | 47,028,180 | 526,820 | 教育研究経費 | 690,768,615 | 688,743,292 | 2,025,323 |
| 寄付金 | 12,156,405 | 13,987,331 | △1,830,926 | 管理経費 | 148,272,801 | 133,473,303 | 14,799,498 |
| 補助金 | 702,492,867 | 712,717,934 | △10,225,067 | 借入金等利息 | 3,540,675 | 3,540,675 | 0 |
| 資産運用収入 | 23,239,869 | 23,165,590 | 74,279 | 資産処分差額 | 3,791,271 | 3,791,271 | 0 |
| 資産売却差額 | 525,000 | 525,000 | 0 | 徴収不能額 | 9,185,000 | 9,185,000 | 0 |
| 事業収入 | 12,378,500 | 12,303,488 | 75,012 | 〔予備費〕 | 46,643,856 | | 46,643,856 |
| 雑収入 | 30,230,358 | 30,045,722 | 184,636 | 消費支出の部合計 | 2,148,430,165 | 2,083,917,688 | 64,512,477 |
| 帰属収入合計 | 2,305,224,699 | 2,316,433,635 | △11,208,936 | 当年度消費支出超過額 | 169,790,374 | 42,791,949 | |
| 基本金組入額合計 | △326,584,908 | △275,307,896 | △51,277,012 | 前年度繰越消費収入超過額 | 994,712,973 | 994,712,973 | |
| 消費収入の部合計 | 1,978,639,791 | 2,041,125,739 | △62,485,948 | 翌年度繰越消費収入超過額 | 824,922,599 | 951,921,024 | |

③貸借対照表の状況

貸借対照表は、会計年度末における資産、負債、基本金及び消費収支差額を把握し、学校法人の財政状態を表わす書類です。

平成26年度末の総資産は、前年度末に比較して402,238千円の増加となり、本年度末10,614,130千円となりました。

資産の部では、「有形固定資産」が365,656千円の増加、「その他の固定資産」が100,602千円増加し、「固定資産」全体では本年度末8,236,218千円となり、対前年度466,258千円の増加となりました。また、「流動資産」は、本年度末2,377,912千円となり、前年度に比べ64,019千円減少しました。

負債の部は、「固定負債」が898,204千円で、前年度に比べ173,902千円の増加、「流動負債」は、351,886千円で前年度に比べ4,180千円減少しました。この結果、総負債は、前年度末に比較して169,722千円の増加となり、本年度末1,250,090千円となりました。

また、基本金の部は、合計で8,412,119千円となり、前年度に比べ275,308千円増加しました。

これらの結果、消費収支差額は42,792千円の支出超過となり、前年度繰越消費収入超過額994,713千円と合わせて、翌年度繰越消費収入超過額は951,921千円となりました。

なお、総資産から総負債を差し引いた正味資産は9,364,040千円となり、前年度に比べ232,516千円増加しました。

貸借対照表

(単位：円)

| 資産の部 | | | | 負債の部 | | | |
|------------|----------------|----------------|--------------|------------------------|----------------|----------------|-------------|
| 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 | 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 |
| 固定資産 | 8,236,217,978 | 7,769,960,376 | 466,257,602 | 固定負債 | 898,203,573 | 724,301,238 | 173,902,335 |
| 有形固定資産 | 6,673,035,096 | 6,307,379,453 | 365,655,643 | 長期借入金 | 749,840,000 | 594,390,000 | 155,450,000 |
| 土地 | 2,498,530,297 | 2,498,530,297 | 0 | 退職給与引当金 | 140,891,773 | 124,117,758 | 16,774,015 |
| 建物 | 3,341,748,157 | 2,902,319,654 | 439,428,503 | 長期未払金 | 7,471,800 | 5,793,480 | 1,678,320 |
| 建物附属設備 | 141,684,603 | 126,655,493 | 15,029,110 | 流動負債 | 351,886,273 | 356,066,450 | △4,180,177 |
| 構築物 | 171,582,273 | 176,208,358 | △4,626,085 | 短期借入金 | 44,550,000 | 27,770,000 | 16,780,000 |
| 教育研究用機器備品 | 161,473,876 | 98,423,232 | 63,050,644 | 前受金 | 236,173,000 | 235,238,500 | 934,500 |
| その他の機器備品 | 4,970,116 | 5,073,582 | △103,466 | その他 | 71,163,273 | 93,057,950 | △21,894,677 |
| 図書 | 343,946,913 | 339,606,865 | 4,340,048 | 負債の部合計 | 1,250,089,846 | 1,080,367,688 | 169,722,158 |
| 車輛 | 9,098,861 | 13,751,972 | △4,653,111 | 基本金の部 | | | |
| 建設仮勘定 | 0 | 146,810,000 | △146,810,000 | 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 |
| その他の固定資産 | 1,563,182,882 | 1,462,580,923 | 100,601,959 | 第1号基本金 | 8,205,182,686 | 7,939,874,790 | 265,307,896 |
| 有価証券 | 1,298,394,000 | 1,197,869,000 | 100,525,000 | 第3号基本金 | 51,936,631 | 50,936,631 | 1,000,000 |
| 退職給与引当資産 | 147,000,000 | 147,000,000 | 0 | 第4号基本金 | 155,000,000 | 146,000,000 | 9,000,000 |
| 第3号基本引当資産 | 51,936,631 | 50,936,631 | 1,000,000 | 基本金の部合計 | 8,412,119,317 | 8,136,811,421 | 275,307,896 |
| 特定支出引当特定資産 | 33,570,000 | 29,690,000 | 3,880,000 | 消費収支差額の部 | | | |
| その他 | 32,282,251 | 37,085,292 | △4,803,041 | 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 |
| 流動資産 | 2,377,912,209 | 2,441,931,706 | △64,019,497 | 翌年度繰越消費収入超過額 | 951,921,024 | 994,712,973 | △42,791,949 |
| 現金預金 | 2,257,036,941 | 2,320,555,176 | △63,518,235 | 消費収支差額の部合計 | 951,921,024 | 994,712,973 | △42,791,949 |
| その他 | 120,875,268 | 121,376,530 | △501,262 | 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 |
| 資産の部合計 | 10,614,130,187 | 10,211,892,082 | 402,238,105 | 負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計 | 10,614,130,187 | 10,211,892,082 | 402,238,105 |

学園情報

学園全体

学園表彰

このほど高校の安斉義宏先生、井出聖和先生、上和田直先生は、平成27年度群馬県私立学校教員等永年勤続者顕彰に決定し、7月10日（金）に行われた顕彰の伝達式に出席されました。

この受賞を受け、学園では25年の永きに亘り学園の教育職員として職責を果たした功績は多大であるとして、7月11日（土）、高校の教職員全員の前で森本理事長より金一封を贈り表彰式（学園表彰）が行われました。



安斉義宏先生



井出聖和先生

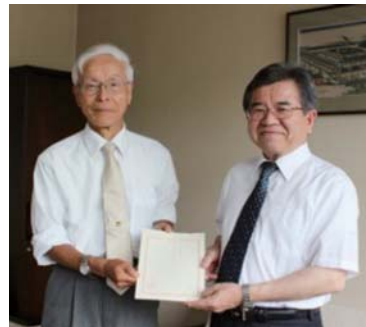


上和田直先生

学園全体

中野文平教授が名誉教授に！

中野文平教授は、平成27年3月に定年退職され現在は大学の非常勤講師として勤務されておりますが、永年に亘り専任教授として勤務され、学部長や研究科長の重責を果たされました。今回、教育上、学術上特に功績があったとして、高崎商科大学名誉教授称号授与規程に沿い、渕上学長より高崎商科大学名誉教授の称号が授与されました。授賞式は、平成27年6月11日、学長室で挙行されました。



右から渕上学長、中野先生

大学・短大部にアクティブラーニンググループを設置

大学・短大

平成26年度私立大学等教育研究設備整備費補助金を活用して、111教室・237教室にアクティブ・ラーニンググループを設置しました。

両教室ともに、電子黒板や複数台のノート型パソコンが設置され、学生と教員で相互に画面のやり取りをすることが可能となりました。

111教室には、教室内の前後それぞれ2面（合計4面）にプロジェクターを設置。237教室には、壁一面を利用した大型のホワイトボードが配置され、3つのプロジェクターが設置されています。同教室には、学生がカード端末のボタンを押すと、集計結果がリアルタイムにパソコンの画面上に表示される双方向コミュニケーションシステム：クリッカーシステムも導入。このような教室やシステムを利用して、学生の能動的学習を活発化しています。



1号館
111教室



3号館
237教室

学園全体

法人役員会監事退任に伴う後任者について

平成27年1月9日（金）に行われた法人役員会において、学校法人高崎商科大学監事の任期満了に伴う改選が行われました。

今回の改選では、学校法人高崎商科大学監事の黒崎千代子氏より、都合により今期をもって退任したいとの申し出があったことから、その後任の監事（任期平成27年1月13日～平成30年1月12日）として（株）高崎総合コンサルタンツ代表取締役、税理士の加藤勝二氏にご就任いただくことになりました。

監事の選任に当たっては、学校法人高崎商科大学寄附行為第7条第1項により理事会において推薦され、評議員会の承認を得た後、理事長が選任いたしました。



加藤勝二氏

高 校

校訓の額を新調、高校 校舎内に等身大の鏡の設置

高等学校では、一昨年より、第七校舎の新築、第一校舎の建て替え、第三校舎の解体と共に第二・第四校舎の耐震工事、等々施設設備の大改築改修事業を行ってまいりました。全ての工事等が完了するまでもう少となりましたが、今回、全ての教室に、校訓「親愛・礼節・整美」の額を新調しました。

森本純生校長は、校訓について、現代にも必要な教えであり、創立110年経過後も実践目標としたいとして、この機に新調したものです。

また、全身を写す大きな鏡（姿見）を今までのものに加えて新しく十三カ所に設置しました。高校では制服をきれいに着ること、頭髪を含め整った身だしなみを指導しています。自分の姿・制服を鏡に映して整える習慣を身につけてほしいと願い設置したものです。



校訓の額を新調



大きな鏡（姿見）

高 校

国民体育大会準優勝!! （フェンシング少年女子）

本校の部員で臨んだ今年の国体は、決勝戦で地元和歌山県に敗れたものの、準優勝という



写真は左から遠藤、登坂、大木、砂山監督好成績を残せました。特に3年生の登坂梨乃と大木彩は中学時代は全く無名の選手でしたが、この3年間良く努力し、全国トップレベルにまで成長してくれました。優勝を逃した無念は2年生エースの遠藤里菜が新チームで晴らしてくれるでしょう。

私自身も久々に決勝戦の舞台に立つことができ、選手達から勝利への情熱と指導への自信を貰いました。最後まで勇敢に戦った選手達に感謝しています。監督 砂山雄一郎

大学・短大

ベトナムを「見て・知って・感じとる」 ショートステイ プログラムスタート!

9月6日～12日の1週間、大学2年生6名が「ベトナム ショートステイ プログラム」に参加しました。

本学では昨年度、グローバル人材の育成を目的として、ベトナム



フオンドン大学での学生交流

のフオンドン大学やMINA日本語学校と協定を締結。これを本学生の成長につながるチャンスと捉え、当プログラムを企画、実施しました。

ベトナムは経済事情も、アジアで群を抜く高成長と安定性があり、異文化体験や交流から、参加した学生もグローバルな視点、コミュニケーション能力などが養われたようです。



日本語学校との交流



ベトナムの歴史を学ぶ（文廟）

大学・短大

海外インターンシップ スタート！（ブルネイ）

今年度より海外インターンシップ（2015. 8. 15～9. 13）を実施しました。場所はブルネイ。東南アジアのボルネオ島にあり、南シ



たかましくなって帰国報告!

ナ海に面して、陸上はマレーシアに囲まれている小さな国ですが、天然資源に恵まれ、税金もなく、医療費も教育費も無料という羨ましい環境です。

受け入れ先は、現地の旅行会社フレーミートラベル。学生は、約1ヶ月間社員寮に宿泊し、観光ガイド等を体験しながら、語学だけでなく、社会人として必要な報・連・相やホスピタリティを学びます。そして何より、自ら意思表示をしないと何も進まない環境に身を置くことで、現在の学生に最も不足している『発信力』の強化につながったようです。

高 校

風になれ 今 青春が走り出す 君が創る近畿総体 2015・全国大会結果

| クラブ名 | 期日 | 開催場所 | 成 績 |
|---------|-----------------|--------------------------|---|
| 空 手 道 部 | 7月31日～ 8月2日 | 奈良県宇陀市 総合体育館 | 女子個人形 清水那月 (F3-7) 5位入賞、小峯桃子 (F3-7) 1回戦敗退 女子団体組手 5位入賞 女子個人組手 川村真以 (F3-6) 2回戦敗退、鈴木沙奈 (F3-6) 2回戦敗退 男子個人組手 川崎紘史 (F3-8) 3回戦敗退 |
| フェンシング部 | 8月6日～ 8月12日 | 奈良県櫻井市 芝運動公園 総合体育館 | 女子学校対抗 ベスト8 女子フルーレ個人 遠藤里菜 (F2-9) 2位、登坂梨乃 (F3-11) 2回戦敗退 女子エペ個人 登坂梨乃 (F3-11) 2位 女子サーブル個人 大木 彩 (S3-1) 予選敗退 男子フルーレ個人 江藤和博 (F1-9) 2回戦敗退 男子サーブル個人 倉林洋太 (F2-5) 予選敗退 |
| アーチェリー部 | 8月6日～ 8月9日 | 奈良県立 橿原公苑 陸上競技場 | 男子団体 27位 女子団体 9位 男子個人 市川遼治 (F2-1) 87位、勅使川原秀倫 (F3-3) 102位 森田伊心 (F3-6) 111位、伊藤亨紀 (F2-6) 169位 女子個人 佐相花奈 (F3-8) 33位、秋場祐里奈 (F2-11) 33位 今川琴乃 (F2-10) 120位、坂本正恵 (F3-10) 142位 |
| 少林寺拳法 | 7月31日～ 8月2日 | 兵庫県立 武道館 | 女子単独演武 清水あかり (F2-3) 準決勝進出 |
| ボウリング | 7月28日～ 7月30日 | 川崎グランドボウル | 第39回全日本高校ボウリング選手権大会出場 加藤愛華 (F2-12) |
| バト ン 部 | 7月28日～ 7月30日 | 滋賀県大津市街地、 野洲市総合体育館 | 第39回全国高等学校総合文化祭 パレード部門、マーチングバンド・パントトワリング部門 文化連盟賞 |
| 放 送 部 | 7月20日～ 7月22日 | 東京オリンピック センター | 第62回全国NHK杯高校放送コンテスト 準々決勝 |
| | 7月30日～ 8月2日 | 滋賀芸術文化会館 さきら | 第39回全国高等学校総合文化祭 放送コンクール オーディオビクチャー部門・ビデオメッセージ部門 文化連盟賞 |
| 囲 碁 部 | 7月30日～ 7月31日 | 滋賀県 長浜ロイヤルホテル | 第39回全国高等学校総合文化祭 囲碁部門 団体戦女子代表 長谷川由美 (F3-6) 3勝3敗 女子個人戦 嶋田あかり (F2-4) 3勝3敗 |
| 文 芸 部 | 8月19日～ 8月21日 | 岩手県 盛岡劇場 | 第10回全国高校生短歌大会 短歌甲子園2015 1次リーグ敗退 |

幼稚園

幼稚園の秋!! 運動会

当日の朝、なんと雨。子ども達はこの日を楽しみに暑い7月から練習をしてきていたので何とか開催してあげたい思いで、1時間遅れで行う決断をしました。

まだ小雨が降る中で、役員のお母様方にもお手伝い頂き園庭に溜まった雨水を吸い取り、どうか時間までに整備ができ開始することができました。途中、皆の思いが届いたのか陽も差すような天気になり予定していたプログラムを全て行うことができました。

年長組の「R.Y.U.S.E.I」のダンスには手拍子が沸き起り子どもの成長を見て目頭を押さえている保護者の方も多くいらっしゃいました。また、毎年恒例の父親によるクラス対抗の綱引きは園庭が掘れてしまうほどで、大変迫力がありました。



年長組による
R.Y.U.S.E.Iのダンス



父親によるクラス
対抗の綱引き

わかやま国体
アーチェリー成年女子団体
(卒業生) 準優勝!!

学園全体

和歌山県で行われた国民体育大会(わかやま国体)において、本学園卒業生(附属高校)深沢菜見さん、小川千絵さん、遠間あずささんの3人は、群馬県の代表としてアーチェリー成人女子団体に出場し準優勝の快挙を果たしました。



上毛新聞では、3人のコメントを次のように伝えている。全員が高商大出身。雰囲気づくりに努めた最年長の深沢は「ここまでこられたのは後輩のおかげ」、底抜けに明るい緊張しがちな小川は「2人が励ましてくれたから迷わず打てた」、エースとして何度もピンチを救った遠間は「チームワークなら日本一」と胸を張った。そして、アーチェリーで結ばれた絆はこれからもほころぶことはない、と結んでいる。

学園として大きなエールを送ると共に、今後の活躍に期待したい。

学園の行事等をお知らせします。



平成27年度 学園カレンダー

| 月 | 佐藤幼稚園 | 附属高校 | 大学・短期大学部 |
|-----|--|--|--|
| 11月 | 1日 お祭り・バザー 22日 学園記念日 27日 避難訓練(地震) | 1日 吹奏楽定期演奏会 8日 生徒保護者対象入試説明会 20日 防災訓練 22日 学園記念日 | 4日 推薦入試Ⅰ期等入試 22日 学園記念日 |
| 12月 | 13日 お遊戯会 18日 おもちつき 22日 二学期終業式 | 1日～4日 期末考査 7日 第2回授業アンケート 22日 終業式 | 16日 推薦入試Ⅱ期等入試 25日 冬季休業開始 |
| 1月 | 8日 三学期始業式 29日 避難訓練(火災) | 7日 始業式 10日 推薦・推特入試 11日 学業特別奨学生Ⅰ期入試 16日～17日 大学入試センター試験 19日～25日 3年学年末試験 21日 学業特別奨学生Ⅱ期入試 31日 一般入試 | 3日 冬季休業終了 16日～17日 大学入試センター試験 25日 後期授業終了 26日～29日 補講日 |
| 2月 | 23日 保育参観(バニー) 25日 保育参観(年少) 26日 保育参観(年中) | 7日～11日 修学旅行(前班) 8日～12日 修学旅行(後班) 14日～18日 修学旅行(国文) 26日 予餞会 27日 商大杯(空手道・バレーボール) | 1日 一般入試前期等入試 2日～8日 後期試験 13日 一般入試中期中等入試(大学・短大・大学院) 9日～15日 集中授業期間 16日 追試手続(大学・短大・大学院) 19日 成績発表(大学・短大・大学院) 22日 再試手続(大学・短大・大学院) 26日～27日 追再試験日 |
| 3月 | 3日 保育参観(年長) 4日 避難訓練(地震) 5日 入園説明会 19日 第48回卒園式 24日 修了式 | 1日 第67回卒業式 3日～7日 1・2年学年末考査 24日 終業式 | 4日 大学・短大・大学院 卒業・修了判定会議 12日 一般入試後期等入試(大学・短大・大学院) 19日 卒業式 修了式 |

大学・短大・高校

平成28年度 入試日程

大学・短期大学部 入試日程

| 区 分 | 試験日又は出願期間 |
|----------------------------|--|
| 推薦入試Ⅰ期(指定校・公募) | 11/4(水) |
| PCD特待生推薦 ※大学のみ | |
| Haul-A特待生推薦 ※大学のみ | |
| 海外留学特待生推薦 ※短大のみ | |
| スポーツ推薦(公募) | 12/16(水) |
| 推薦入試Ⅱ期(指定校・公募) | |
| AO入試Ⅰ～Ⅴ期 | 出願期間 8/1(土)～3/7(月) |
| 国立大学併願3科目型 | 2/1(月) |
| 一般入試前期日程 | |
| センター試験利用入試3科目型(チャレンジ3) | 出願期間 1/4(月)～1/25(月) |
| センター試験利用入試前期(2科目型) | |
| 一般入試中期日程 | 2/13(土) |
| センター試験利用入試中期(2科目型) | 出願期間 1/26(火)～2/16(火) |
| 一般入試後期日程 | 3/12(土) |
| センター試験利用入試後期(2科目型) | 出願期間 2/17(水)～3/9(水) |
| 特別入試Ⅰ～Ⅴ期 (留学生・社会人・帰国子女) | I期 11/4(水) II期 12/16(水) III期 2/1(月) IV期 2/13(土) V期 3/12(土) |
| 3年次編入 ※大学のみ | 推薦 9/11(金) 一般前期 11/4(水) 一般後期 2/1(月) |

附属高校 入試日程

| 科 | コース | 日程 | 1/10(日) | | 1/11(月) | | 1/21(木) | 1/31(日) |
|---------|-----------|----|---------|---------|-----------|-----------|---------|---------|
| | | | 推薦 | 推薦特別奨学生 | 学業特別奨学生Ⅰ期 | 学業特別奨学生Ⅱ期 | 一般 | |
| 普通科 | 特別進学選抜コース | 男女 | | ※ | | | | |
| | 特別進学コース | 男女 | | ※ | ○ | ※ | ○ | |
| | 進学コース | 男女 | ○ | | ○ | | | ○ |
| | 国際文化コース | 男女 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 総合ビジネス科 | 男女 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

ベスト3入試 *Ⅰ期・Ⅱ期の一括申込者(ダブル受験)はⅡ期の受験料免除
*Ⅰ期・Ⅱ期の受験結果の合格種別でどちらか良い方で手続可能
※普通科の特別進学選抜コース、特別進学コース、進学コースは、入試の結果によって決定されます。

学園全体

「マイナンバー制度」始まる！

平成27年10月から、社会保障・税番号（マイナンバー）制度によって、住民票を有するすべての個人とすべての法人に対して番号が付けられ、マイナンバーの通知が開始されます。そして、平成28年1月から、これらの番号の利用が一斉に始まります。マイナンバー制度の目的は、「行政運営の効率化」や「国民の利便性の向上」、「公平・公正な社会の実現」とされています。

マイナンバーの具体的な利用目的は、「源泉徴収票・法定調書作成事務」「健康保険・厚生年金保険届出事務」「雇用保険届出事務」の諸手続きです。また、学園で行う申告や届出だけでなく自身が行う手続きにも必要となります。

平成27年10月以降、マイナンバーが記載された「通知カード」が、簡易書留により各家庭に送付されます。学園に通知カードを提出いただく時期は、11月下旬頃〔平成28年分の扶養控除等（異動）申告書の提出時〕になりますので、学園からマイナンバー（12桁の個人番号）の提出依頼があるまで、通知カードは家族の分も含め紛失しないよう、しっかり保管してください。

なお、平成28年1月以降、市区町村への申請により、「個人番号カード」の交付を受けられます。「個人番号カード」は、写真入りのカードとなり、身分証明書として利用できる他、さまざまなサービスが予定されています。

幼稚園

「コアラくらぶ」(親子登園)のご案内

本園では、「母親 同士の 楽しい子育て交流を図り、母子で遊べる機会を園で」と幼稚園のマミーズハウスで「コアラくらぶ」(親子登園)を開設しております。毎年多くの親子の皆様にご入会をいただいております。

近年は、パニー組(満3歳児クラス)への移行を希望される幼児が多くなっており、「幼い時から良質な教育を」とお考えの保護者の方々に喜ばれております。是非多くの方々に「コアラくらぶ」にご入会いただき、就園前の小さな社会生活の第一歩を親子で体験していただきたいと思っております。平成27年度より、小さいお子さんも参加できるコアラCを開設いたしました。

平成27年度・コアラくらぶ利用案内

- クラス 年齢でクラスを分けております。
 - Aクラス…本幼稚園入園を前提としたクラスで火曜と水曜のコースどちらか
 - Bクラス…親子で幼稚園体験クラス 木曜日コース
 - Cクラス…親子ふれ合いクラス(決められた日)
- 場 所 子育て支援棟 マミーズハウス
- 時 間 10時30分～11時30分まで
- 人 数 1クラス10組程度
- 費 用 前期:A・Bクラス 4月～7月(全7回) 2,800円
Cクラス(全5回) 2,000円
後期:A・Bクラス 9月～翌年3月(全13回) 5,200円
Cクラス(全7回) 2,800円
- 申込期間 随時、先着順に受け付けます。
- 受 付 申込書に必要事項を記入し、直接園事務室にお申込み下さい。
A・B両クラス共に人数になり次第締め切らせていただきます。
- 問い合わせ先 高崎商科大学佐藤幼稚園
〒371-0803 高崎市大橋町18-1 TEL 027-323-9512

大学・短大

公開講座

「今さら聞けないPC講座」 (基本・応用・実践編)

最近ではパソコンは身近になり多くの家庭に普及していますが、皆さんはそのパソコンを有効活用されていますか？

本講座ではパソコン操作の基本となるMicrosoft Wordの使い方を学び、受講者の皆さんがオリジナルの年賀状を作成することをゴールとします。自作の年賀状で新年の挨拶をしてみませんか？

- 講 師 竹上 健(商学部 学部長)
- 定 員 50名
- 受 講 料 1,500円
- 回 数 3回
- 日程・時間
 - 第1回 11月21日 13:30～15:00
 - 第2回 11月28日 13:30～15:00
 - 第3回 12月5日 13:30～15:00
- 場 所 332教室
- 募集期間 10月1日～11月16日
- 問い合わせ先 高崎商科大学 公開講座係
〒371-1214 群馬県高崎市根小屋町741
TEL 027-347-3399